

〈新刊案内〉

青春出版社

定年前後「これだけ」やればいい 人生後半 40 年に差がつく習慣 郡山史郎

このたび、青春出版社（東京都新宿区）は、『定年前後「これだけ」やればいい』（著・郡山史郎）を3月2日に刊行いたしました。

◆定年後も自分らしく働くには、40代から準備をしてください！

「人生100年時代」といわれる昨今の日本。定年後も会社で働き続けるシニアは年々増加しており、60歳以上の労働者は9年前に比べて約150万人も増えているといいます。現在は、昔と違って退職金も年金もかなり少なく寿命も伸びているため、定年後の人生を無職のまま過ごすのは難しいでしょう。しかし、定年を過ぎたシニアが自分に合う仕事を見つけるのもまた容易ではないのが現実。定年後も自分らしくいきいきと働くには、なるべく早く定年後の行き先を考える必要があるのです。（できれば40代から！）そこで、今まで3000人以上の再就職をサポートし、自身も御年84歳で人材紹介会社長を務める郡山史郎氏が、シニア世代が就職活動でうまくいくための習慣を具体的に紹介します。



郡山史郎(こおりやま・しろう)

1935年生まれ。株式会社CEAFOM代表取締役社長。

一橋大学経済学部卒業後、伊藤忠商事を経て、1959年ソニー入社。73年米国のシンガー社に転職後、81年ソニーに再入社、85年取締役、90年常務取締役、95年ソニーPCL社長、2000年同社会長、02年ソニー顧問を歴任。04年、プロ経営幹部の紹介をおこなう株式会社CEAFOMを設立し、代表取締役に就任。人材紹介のプロとして、これまでに3000人以上の転職・再就職をサポート。著書に、10万部突破のベストセラー『定年前後の「やってはいけない』(青春出版社)などがある。

●CEAFOM <https://www.ceafom.co.jp/>

◆定年後うまくいく人は何が違うのか？

定年後に充実して働いている人には、いくつかの行動原則や考え方が共通しています。たとえば、

- なるべく早く定年後の準備に取りかかる
 - ログセは「何でもやります」
 - シニアだからこそ、マナーを大切にする
 - “過去の栄光”は履歴書に書かない
 - スタープレイヤーを目指さない

…など全部で10個。シニアの就職活動は新卒や中途とは全く異なります。大切なのは「早く頭を切り替えるかどうか」。まずは、定年をいずれ迎えることを悲観せず、楽しみながらこれから先について考えてみませんか？

仕様：新書版並製／定価：950 円＋税／発売：2019 年 3 月 2 日

株式会社青春出版社 プロモーション部:西尾 春香 〒162-0056 東京都新宿